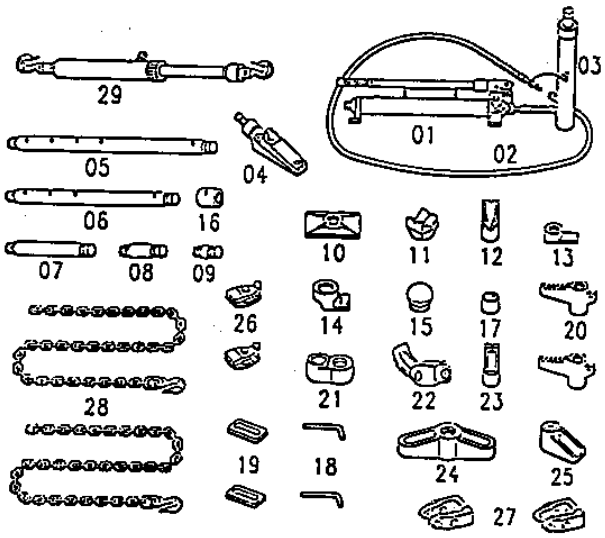
取扱説明書

ボデー・リペア・キット　１０トン　品番：＃３６１０１５００　型式：HD１０１４

１，仕様

・セット内容

品番	部品名称	品番	部品名称
０１	油圧ポンプ	１６	フィメールコネクター
０２	油圧ホース	１７	セレイテッドサドル
０３	油圧ラム１０トン	１８	ロックピン
０４	スプレッダーラム	１９	プルリング
０５	エクステンションチューブ６３５mm	２０	オフセットプルトー
０６	エクステンションチューブ５０８mm	２１	クランプヘッド
０７	エクステンションチューブ２５４mm	２２	ボデークランプ
０８	エクステンションチューブ１２７mm	２３	スプリングスプレッダートー
０９	メールコネクター	２４	チェンプレート
１０	フラットベース	２５	クランプエンドトー
１１	９０°Ｖベース	２６	スモールマウスクランプ
１２	ウェッジヘッド	２７	ボックスクランプ
１３	スプレッダープランジャートー	２８	フック付チェン１．５m
１４	スプレッダーラムトー	２９	５トンプルラムキット
１５	ゴムヘッド	３０	専用カート



２，使用方法

①地面が固く、水平な場所で作業を行なって下さい。
②０１，油圧ポンプを水平な場所で操作して下さい。
③０２，油圧ホースと０３，油圧ラム１０トン、０４，スプレッダーラム、２９，５トンプルラムキットのいずれかを確実に接続して下さい。
④ラムを使用する場合は、ラムの一方に用途に応じたアタッチメントを、もう一方にエクステンションチューブを取り付けてアタッチメントを取り付けて下さい。アタッチメントに穴が開いている物は、１８，ロックピンを挿入して下さい。
⑤０１，油圧ポンプの開放バルブを、時計回転方向に手で止まるまで締め付けて下さい。
⑥０１，油圧ポンプのハンドルを上下に動かして、オイルを０２，油圧ホースを通してラムに送って下さい。０３，油圧ラム１０トンのピストンの場合は伸び、０４，スプレッダーラムの場合は開き、２９，５トンプルラムキットの場合は縮みます。
⑦作業後は、０１，油圧ポンプの開放バルブを反時計回転方向にゆっくり回して下さい。
⑧０１，油圧ポンプの０２，油圧ホースからラムを取り外す場合は、必ず開放バルブを反時計回転方向に回してラムのピストンを最後まで縮めて（２９，５トンプルラムキットは伸ばして）から、油圧ホースを外して下さい。
⑨使用後は、必ず０１，油圧ポンプの開放バルブを、時計回転方向に手で止まるまで回して保管して下さい。
※２本以上のエクステンションチューブを使用する時は、０９，メールコネクターを使って接続して下さい。又、必ず最も短いエクステンションチューブをラムから一番遠い位置に取り付けて下さい。
※ラムの能力は、アタッチメント、エクステンションチューブを使用する毎に５０％低下します。
※開放バルブは急激に回すと、ピストンが急激に縮み、非常に危険です。必ずゆっくり回して下さい。

３，メンテナンス方法

●保管する時は、ラムのピストンを最後まで確実に縮めて（２９，５トンプルラムキットは伸ばして)、開放バルブを時計回転方向に軽くロックするまで回して下さい。
●オイル漏れや能力が不足してきた場合は、オイル量を確認して下さい。次に、下記手順にてエア抜き後、オイルを注入して下さい。
①０１，油圧ポンプを水平な場所に置いて、ラムを０１，油圧ポンプより低い位置に置いて下さい。
②ラムのピストンに負荷がかからない状態にして、ピストンを数回伸縮させて下さい。これにより、ポンプ内のエアが開放されます。
③ラムのピストンを完全に縮めて、０１，油圧ポンプに圧力が掛かっていない状態で、タンク上部のネジを外してオイルを注入して下さい。オイル量は、注入口から溢れない程度入れて下さい。

４，オイルの仕様

・比　　重：１５．６℃；３０．８０
・粘　　度：４０℃；１５．２６mm²／ｓ～８．５３mm²／ｓ
・粘 度 指 数 ：１１１
・引　火　点：１８６℃
・流　動　点：－４５℃
※上記仕様と類似の油圧オイルを使用して下さい。

５，作動不良と点検

●ラムのピストンが伸びない（縮まない)、又は自動的に下がってくる場合
・開放バルブが開いている可能性があります。開放バルブを時計回転方向に軽くロックするまで回して下さい。
・オイル不足の可能性があります。オイル量を確認して下さい。
●ラムのピストンが最大まで伸縮しない場合は、オイル不足の可能性があります。オイルを注入して下さい。
●ラムのピストンが自動的に伸縮する場合は、オイルの入れ過ぎです。オイルを適正量まで抜き取って下さい。

６，注意事項

⚠警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重症を負う危険性があるもの。）

①傾斜面や、軟弱地では使用しないで下さい。本来の能力が発揮できない恐れがあります。
②異なるタイプ、ブランドのオイルは、絶対に混合しないで下さい。
③本機は車のボデー、フレーム等を修正する工具です。その他の用途には使用しないで下さい。又、使用中は持ち場を離れないで下さい。又、ボデー、フレームに対して、**バランス良く取り付け**して下さい。
④本機の能力以上で使用しないで下さい。本機の損傷、重大事故につながる恐れが有ります。
⑤エクステンションホース、アタッチメント、ホースの接続は確実に行って下さい。使用中に外れると非常に危険です。

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又は、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

①開放バルブを反時計回転方向に回し続けると、開放バルブは外れるので、回し過ぎない様にして下さい。
②本機に破損、曲がり、変形がある場合、作動に問題がある場合は使用しないで下さい。
③ポンプの移動、使用時は指等を挟まない様に、注意して下さい。

株式会社パーマンコーポレーション
〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　　０１２０－２０２－８００